

■シギ・チドリ類とは

チドリ目のシギ科とチドリ科鳥類※の総称です。※ミヤコドリ科、セイタカシギ科、レンカク科、タマシギ科、ツバメチドリ科を含みます。

大阪では、シギ科47、チドリ科11の他、ミヤコドリ科1、セイタカシギ科2、レンカク科1、タマシギ科1、ツバメチドリ科1の64種が記録されています。これは、大阪で記録のある鳥類約360種の6分の1にあたります。このうち湾岸部で記録のある60種を別表に掲載しました。

■長い旅をする渡り鳥

シギやチドリの仲間の多くは、地球規模の渡り（シベリアなど北半球北部で繁殖し、熱帯や南半球で越冬する）を行う鳥で、春と秋の渡りの途中に、日本各地の干潟や湿地などで餌を採り渡りのエネルギーを補給して命をつないできました。大阪湾岸部では、早くから埋め立てにより干潟や湿地が失われていく中、埋立地にできた水たまりや湿地などが、シギやチドリ類の重要な生息環境となってきました。大阪湾岸は「東アジア・オーストラリア・フライウェイ」の重要な中継地のひとつです。シギ・チドリ類は、世界的に減少が指摘されており、日本に渡来する個体数も激減しています。その大きな要因の一つは生息地である干潟や湿地の消失と考えられます。

別表を見ても、60種のうち44種もの鳥が絶滅危惧種又は準絶滅危惧種に指定されていることがわかります。適切な保護対策を講じなければ、多く種が大阪湾岸から姿を消す恐れがあります。



ソリハシシギ




メダイチドリ




干潟に降り立つキアシシギとトウネン


■干潟は、シギ・チドリの大切な中継地
干潟に生きるたくさんのゴカイやカニ、貝、魚などの生き物が、渡り鳥の貴重な食物となっています。



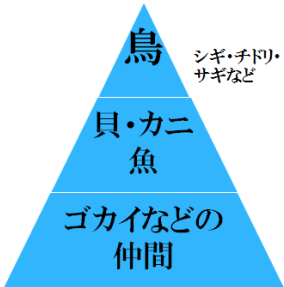
ヤマトオサガニ



ハクセンシオマネキ




ゴカイの1種



鳥
シギ・チドリ・サギなど

貝・カニ
魚

ゴカイなどの
仲間



ゴカイを食べるオオソリハシシギ



危機的な状況にあるシロチドリ

■急激に数を減らしているシロチドリ

2022年のモニタリングサイト1000 シギ・チドリ調査結果から全国でシロチドリの数が顕著に減少していることが報じられました。

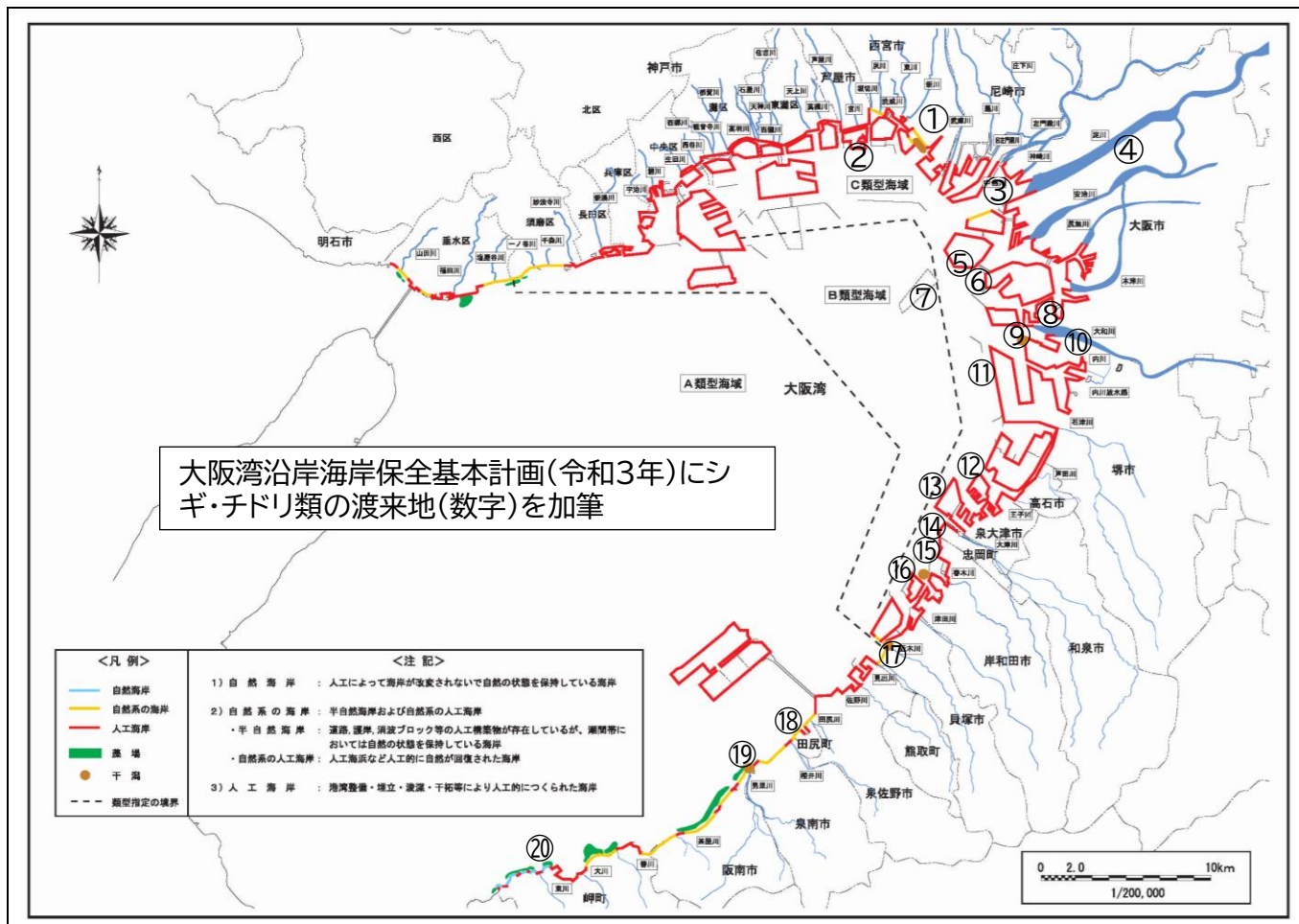
シロチドリは、大阪湾岸部でもかつては一年を通じ、海辺で比較的普通に見られるチドリでしたが、今はまれにしか姿を見ることができなくなるほど個体数が減っています。海岸近くの砂浜で繁殖する鳥ですが、適地のない大阪では夢洲などの埋立地の裸地で少数が繁殖しています。営巣環境の保全・創出が大きな課題です。



2015.5 泉大津の埋立途上地に群れるシギやチドリ 埋め立てが進行し、今はこの光景は見られない。



夢洲の空を舞うハマシギ



NO	名称	市域	備考(面積等)
①	国設浜甲子園鳥獣保護区特別保護地区	西宮市	30ha
②	南芦屋浜	芦屋市	
③	矢倉緑地	西淀川区	
④	淀川汽水域 海老江、十三、柴島干潟	福島区他	
⑤	夢洲	此花区	人工埋立地 万博会場整備に伴いほぼ消失 ※ネイチャーポジティブ候補地
⑥	大阪南港野鳥園	住之江区	19.3ha
⑦	新島(大阪沖フェニックス)	此花区地先	※ネイチャーポジティブ候補地
⑧	平林貯木場	住之江区	※ネイチャーポジティブ候補地
⑨	堺2区人工干潟	堺市	10ha
⑩	大和川河口	堺市・大阪市	
⑪	堺第7-3区	堺市	※ネイチャーポジティブ候補地
⑫	泉北6区先端緑地(助松)人工干潟	泉大津市・高石市	3ha
⑬	泉大津フェニックス	泉大津市	埋立完了に伴いシギ・チドリ類の渡来環境消失
⑭	大津川河口	泉大津市・忠岡町	
⑮	岸和田貯木場	忠岡町・岸和田市	※ネイチャーポジティブ候補地
⑯	阪南2区人工干潟	岸和田市	7ha
⑰	近木川・二色の浜	貝塚市	
⑱	櫻井川河口	泉佐野市・泉南市	
⑲	男里川河口・福島海岸	泉南市・阪南市	河口干潟周辺は大阪府鳥獣保護区に指定
⑳	落合川河口	岬町	